cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cin

シネマズライフ

2013年1月18日発行 第31号　http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】『悪人に平穏なし』あまりにホンマすぎて文句言われへんね。(^-^)V

【最近のこれはまずいぞ！】『恋愛だけしやダメかしら』内容は妊娠女子のハウツウ映画。幸せな人不幸な人いろいろいます。しかし、この題名では恋愛映画と勘違いする人も多いのでは？予告編もそうだけど嘘っぽい題名はいけません。

映画の風景　日本の風景

※ 島根県仁多郡奥出雲町・亀嵩駅 ※

昔、『砂の器』という映画があった。こんな映画だ。

国鉄蒲田操車場構内。一人の初老の男が殺された。身元を示す物もなく、捜査は難航する。しかし、捜査の結果・前の夜に蒲田駅前のバーで被害者と話していた若い男が浮上。だが、その若い男の正体はわからない。

やがて、殺された男の身元が割れる。名前は、三木謙一。警察官で、まじめな仕事ぶりで彼を批難する人間などはおらず、ある時など病に罹った行き倒れのお遍路の親子の面倒まで見ていたという。

三木は善良な男で殺されるような男ではなかったのだ。

再び暗礁に乗り上げた事件だったが、意外な事から犯人が浮かび上がる…。

人間として善良な人が、その善良さから不幸に陥るなど理不尽な事は実に多い。

そんなやるせない事も考えさせられるのだが、折々に描かれる四季の美しさと親子の情愛は、やはり人間を信じたいと思う一筋の光を感じさせてくれる。

この映画の舞台となる《亀嵩駅》は、実は実際の映画には使われていない。しかし、長く続く線路はこの映画のテーマでもある長い【人生】の苦悩と美しさを感じさせてくれるのだ。

『砂の器』1974年 日本 監督：野村芳太郎 脚本：橋本忍 山田洋次 原作：松本清張 出演：加藤剛 丹波哲郎 加藤嘉 笠智衆

親子の愛と日本の自然は日本人の涙を誘う定番。公開当時この映画を見て泣いた日本人が多かったが、今見てもウルウルくるのはさすがである。

コラム　今年も落ち着いた年でもなさそうな件

今年は少しは落ち着いた年になるかと思っていたら、結局そうもいかないらしい。

年始年末は橋下大阪市長が、天王寺動物園が元旦に開いていない事にお怒りになり、ついでに大阪市役所の昼休みに音楽を止めて、橋下さんがイメージする【公務員】としてのスローガンを流すと叫んでるっと思いきや、今度は大学の図書館を、たぶん行かない人が多く逆に電気代がもったいないだろうっと思う市民サービスの為【図書館24時間開館】を要請し、「中之島図書館なんていらない」っと仰った方のお言葉ではないなぁと訝しく思っていた年始年末お忙しくお疲れだなぁ～っと、陰ながら心配しておりましたところ、今度はアルジェリアで世界中の人達が誘拐され、アルジェリア政府があっという間に監禁されたプラントを攻撃して各国の怒りを買っています。

まだ、二十日も立っていないのにこの落ち着きのなさは、今後の一年がどんな年になるのか、予感させられます。

しかし、去年と今年は波乱の年と言われていた事。ここは一つ、人々は覚悟を決めて生活しなくてはならないんでしょね。

写真は、富士山の風景。日本は波乱の年でも、富士山の風景は変わらない。

日本人は富士山のように、どんなに波乱にさらされても変わらない心を持つ事が大切なのだと思うのです。

cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cin

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

『鳥』

IMAGICA BS
1963年 アメリカ
監督：アルフレッド・ヒッチコック
出演：ティッピ・ヘドレン ロッド・テイラー ジェシカ・タンディ
スザンヌ・プレシェット

1月21日(月) 23:30　1月27日(日) 6:30

湾沿いの寒村。メラニーは、サンフランシスコの小鳥屋で知り合ったブレナーに会う為に訪れた。しかし、訪れた矢先メラニーは一匹のカモメに襲われけがをする。これが、事件の始まりだった。

ブレナーはメラニーに帰る事が無理なので夕食に誘い家族に紹介。しかし、メラニーの滞在中に鳥達の不気味な行動がどんどんとエスレートしはじめる…。

この映画から【パニック映画】というジャンルが始まったのではないかと思う。意外なものが《恐怖》の対象となり、徐々に恐怖を増大させついに最後には…。というパターンはこの映画で確立されている。

主演のティッピ・ヘドレンは新人女優で、ヒッチコック好みの金髪美女。しかし、映画界とそりが合わず、動物愛護に奔走する事になるというのも面白い。ハリウッド女優の彼女の娘、メラニー・グリフィスの名前はこの映画の主人公の名前に因んだそうだ。

『鈍 獣』

チャンネルNECO
2009年 日本
監督：細野ひで晃　脚本：宮藤官九郎
出演：浅野忠信 北村一輝
ユースケ・サンタマリア 真木よう子 南野陽子

1月22日(火) 6:00

凸川隆二という作家が失踪した。彼を探す編集者・静は彼の故郷の田舎町にたどり着く。連載小説『鈍獣』が評判になったからだ。そこで静はホストクラブ【スーパーヘビー】で、彼と友達だったという経営者兼ホストの江田、警官の岡本、クラブのママ順子と会う。

話を聞くうちに、彼らは意外な事実を告白。1年前凸川が25年ぶりに現れたのだが、なぜか過去の出来事をすっかり忘れており、しかも凸川がその頃始めた連載の連載小説『鈍獣』で彼らが触れてほしくない出来事が書かれていたのだ。慌てた江田は凸川殺しを計画。殺鼠剤入り水割りを飲ませたり、自動車事故を装ったり、はては線路に放置したり…、とにかく《凸川殺し》に奔走するが、彼はその度ごとに彼らの前に、にこやかに現れるのだが…。

過去の事件に怯える男達に現れる単なる《幻影》なのか？忍び寄る彼らに迫るものは、殺人者としての恐怖か、ひたすら彼らを慕う凸川への引け目か…。人間の愚かさを感じてしまうお話だ。

「サマーウォーズ」

2009年 日本
監督：細田守
声の出演：神木隆之介 桜庭ななみ 富司純子

高校二年生の健二は、世界中にネットワークを持つインターネット上の仮想世界《OZ（オズ）》のシステムのバイトをしていたが、ある日、憧れの先輩・夏希から、夏希の曾祖母・栄の90歳の誕生日に一緒に行って恋人のふりをする《バイト》を頼まれる。

夏希の田舎は、長野県の上田市。戦国時代から続く旧家で、各地から大勢の親類縁者が集まってくる。曾祖母・栄は90歳とはいえ、元気なおばあさんで一家を束ねていた。

そんな時、健二の携帯に不思議なメールが届く。それは数字クイズで【数学学生チャンピオン】に挑戦していた健二は思わず解いてしまう。ところがしばらくして、そのクイズは《OZ（オズ）》の暗号パスで、その時から《OZ（オズ）》は、謎のアバター【ラブマシーン】に乗っ取られてしまい《OZ（オズ）》に世界の機能を託していた現実世界に大混乱が起こってしまう。混乱の原因が自分と知った健二は、大慌て、夏希の親類縁者の協力を得て【ラブマシーン】と対決する決心をするが…。

【デジタルとアナログを融合】させたアニメがすばらしい。現代何もかも、インターネット・機械に依存する世界を大いに皮肉っているにも関わらず、牧歌的な世界と人としての心の大切さを感じさせてくれます。

Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie Cinema CinemaFilm Movie CinemaFilm Movie Cinema TVMovi

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！ 貴樹諒音

☆発行予定は第一・三金曜日です。次回発行は2月1日発行です。

【編集後記】

☆去年の最後の号で、30号になり、今年最初の31号はデザインを一新しようと思いあれやこれや考えていました。しかし、才能の無さが災いしてほとんど変わっておりません(笑)。したがって、リニューアルといってもプチリニューアルです。よろしかったら、ご意見聞かせていただいたら幸です。

☆寒い日々が続いていてお体ご自愛かくお過ごしくださいませ。

シネマズライフ 31号
発行人：貴樹諒音
発行日：2013年1月18日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

§当世迷作列伝§ 『幻の湖』 今でいうソープ嬢の飼っている愛犬が殺され復讐を誓う話なのだが、そのしつこさは尋常ではない。犯人らしき男にしつこく付きまとい、今でいうストーカー。ほとんど妄想と憶測で生きてる女の話です。名作映画を連発した橋本忍の原作・脚本・監督とは思えない珍作。

奥付

シネマズライフーcinemaz-lifeー３１号
http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html
《イマジカＢＳ》
『鳥』
《チャンネルＮＥＣＯ》
『鈍 獣』
映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFlUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。
m(_ _)m ダウンロードで鑑賞できます。 **m(_ _)m**
http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※
感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.